

平成17年12月16日

関西ラグビーフットボール協会所属
チーム代表者 各位

関西ラグビーフットボール協会
理事長 西岡 保

公式戦におけるチーム及び指導者などのマナー等について〔通達〕

ラグビーは、自らの人生を楽しむゲームという伝統と精神を保っている。多くの伝統的スポーツの性質が失われるか、或いはその性質が疑われている時代に、ラグビーは、スポーツマンシップの高い水準、道徳的な振る舞い、フェアプレーを保つことの可能性を誇るにふさわしいものである。

しかしながら、ここ数年来、試合会場において、各チームの選手、監督や指導者及び応援団等による、レフリーへの批判、罵声などが激しさを増しているのが現状である。

また、服装の通達についても、レフリー、協会及び大会関係者による注意指摘にも速やかに従わないことが多々見受けられる。

については、下記のとおり再度通達するので、チーム代表者は、選手は勿論、監督、指導者、応援団等に、これを厳守するよう徹底していただきたい。

記

1. レフリー批判の厳禁及びセルフジャッジの禁止
2. キックオフ時刻の厳守及びハーフタイム後のゲーム再開時刻の厳守
3. 服装及びアンダーウェアについての通達の遵守

ジャージの襟

- ・ 縦型の場合、高さ35mm以上とする。前立の長さは100mm～150mmとする。丸首の形状のものは認めない。

アンダーウェア

- ・ アンダーウェアの色はジャージの袖部分と同色の1色又は、紺色もしくは黒色の単色とする。
- ・ スパッツは、ひざ上までのものは使用可能とし、色については、パンツと同色の1色又は、紺色もしくは黒色の単色とする。

その他

- ・白色のスパッツ、サポーター類はいずれのパンツにも使用することができる。又白以外のスパッツ、サポーター類はパンツと同色又は紺色もしくは黒色の単色とする。

4 . 用具についての通達の遵守

5 . アフターマッチファンクションの意義の再認と自発参加

6 . 規律委員会の開催

- ・ レフリーへの批判や罵声等が発生し、注意指導に応じなかった場合は、関係者を協会に呼び、事情を聴取し規律委員会を開催して、ペナルティーを科す。

以 上